

政策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-4	政策名	日常生活の安全確保	政策の 目指す姿	安全・安心な日常生活を送っています	政策 主管課	市民生活総合相談センター	政策主管 課長名	島山 夕子
	政策の方針	市民が日常生活を安全に安心して送るためには、悩みや問題の解決に向けた支援や地域と連携した安全確保の取り組みが必要です。 そのために、市民の生活相談に的確に対応できる体制を充実させるとともに、地域と連携した防犯活動や交通安全活動を推進します。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
					目標値	実績値	実績値	実績値	実績値
消費者トラブル件数 (相談件数)	消費者トラブル被害の状況を示す指標	出典:市民生活総合相談センター 相談業務実績表における消費生活相談件数(悪質商法等消費者契約、貸借借契約問題、サラ金・多重債務、金銭貸借)を集計。	件		目標値	772	764	756	750
					実績値	770	742	775	-
侵入窃盗件数	侵入窃盗被害の状況を示す指標 (暦年)	岩手県警察本部統計資料	件		目標値	35	35	35	35
					実績値	35	20	24	-
交通事故負傷者数	交通事故(人身事故)被害者の状況を示す指標 (暦年)	岩手県警察本部及び花巻警察署の統計数値	人		目標値	224	210	189	177
					実績値	261	215	209	-
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
A	成果指標は、目標値を上回っている。 消費者相談件数の減少は、出前講座や各種会議などでの啓発活動を継続的に実施していることにより、トラブルが減少しているものと考えられる。 また、侵入窃盗件数、交通事故負傷者ともに減少しており、市内の防犯、交通安全関係団体との連携した取り組みの成果であると考えられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	生活相談の充実	消費者トラブルに遭わないように注意している市民の割合(B-1)	49.3	51.5	53.7	a	53.0	58.2	a	54.5		↗	A
2	防犯活動の推進	外出時に施錠している市民の割合(B-1)	82.7	84.0	82.2	b	85.0	82.5	b	86.0		→	B
3	交通安全の推進	交通安全コンクール参加者数	2438	2550	2616	a	2600	2712	a	2,650		↗	D
		交通事故(物損)件数(暦年)	2031	1860	2187	c	1740	2240	c	1,630		↘	
		高齢者交通事故(人身)件数(暦年)	80	66	90	c	62	88	c	58		↘	
4													

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
A-③	2成果指標の達成状況における達成度は「A」であり、目標を上回っている。 3政策に対する各施策の達成状況における達成度は、「A」「B」「D」であり、「消費者トラブルに遭わないように注意している市民の割合」については、広報はなまき、FMIはなまき、HP、FBまた出前講座による啓発活動の成果と考える。
概ね順調	「交通安全の推進」については、人身事故、死亡事故は減少しているものの、物損事故、高齢者交通事故が増加している(平成30年高齢者事故率50.0%:加害者又当事者)。高齢者の交通事故防止に取り組むことが重要である。

成果指標達成度	A	☆			
	B				
	C				
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

施策名	生活相談の充実	施策の成果指標の達成状況	H29	A	H30	A
1	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> あらゆる世代において消費者トラブルに巻き込まれる状況になってきている。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が予備知識を習得する機会として出前講座が有効な手段であることから、講座内容の更なる充実を図る共に、イベント等においての啓発活動に努める。 					
2	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 侵入窃盗や自転車盗難防止について、「カギかけ」は有効な対策であるにもかかわらず、被害に遭わないよう注意している市民の割合が伸びない。 基本的には空き家の管理は所有者がやるべきことではあるが、老朽化し危険な空き家については、近隣住民に被害を与える影響が大きい。そのような空き家については所有者の財政的な課題があるし、相談するところがわからないなどの要因も考えられる。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カギかけの徹底」を引き続き防犯協会の活動の重点項目とし、関係機関と連携しながら啓発を継続するとともに、タイムリーな情報提供を行うためメール配信希望登録者を増やす。 空き家等無料相談会を平成30年度は10月に開催したが、令和元年度は8月に開催し、適正な空き家の管理の推進や、老朽危険空き家の解体助成などの照会を実施する。 					
3	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通指導員が高齢化しているほか、定員割れしていることから交通指導員の確保が必要である。 交通安全教室の開催のあり方について、より効果的にするための工夫が必要である。 高齢者の運転免許証の自主返納制度及び支援事業のさらなる周知が必要である。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通指導員養成講座を開催し、指導員の役割等について周知を図るとともに1人でも多くの指導員を確保する。 効果的な交通安全教室開催のため、交通指導員の研修を行い資質の向上を図る。また、交通安全教室において具体的事事例を紹介するなど、受講者が交通事故を身近に捉えることができるよう工夫する。 高齢者の交通事故防止や運転免許証の自主返納制度について、関係機関と連携し意識啓発や周知に継続して取り組む。 					